

国土交通審議官

塩見 英之 様

要 望 書

豪雪地帯及び半島地域における自動運転技術の社会
実装推進に向けた継続的かつ重点的な支援について

むつ市
むつ市議会

【要望理由】

当市は、下北半島の中央部に位置し、経済、医療、教育等、様々な分野において地域の中心的役割を担っておりますが、交通事業者における運転手の不足及び高齢化が顕著であり、下北半島全域での公共交通網の崩壊が懸念され、地域社会の持続性が脅かされている窮状にあります。

このことから、交通事業者の運転手不足対策を喫緊の課題と捉え、今年度より、自動運転バスのレベル2での実証運行に取り組むこととしており、将来的にはレベル4での社会実装を目指しております。

しかしながら、現状では、豪雪地帯におけるレベル4での冬季間の運行には技術的な面から課題があるものと想定しており、このことが、雪国において自動運転移動サービスの普及を阻害する一因であると認識しております。

一方で、当市における実証実験を通じて、冬季間の運行に適した自動運転技術を確立することにより、これを先進事例として横展開し、下北地域のみならず、広く豪雪地帯及び半島地域における自動運転移動サービスの普及を図り、多くの自治体において人手不足や運営コストの課題を抱える既存の公共交通機関を補完・代替し、効率的かつ持続可能な新たな公共交通システムを構築することが可能となります。

当市では、豪雪地帯及び半島地域における自動運転移動サービスの先進モデル確立を見据え、事業に取り組んでまいり所存であり、つきましては、次の事項を要望いたしますので、特段の御配慮を賜りますようお願い申し上げます。

【要望事項】

冬季間の運行に適した自動運転技術を確立するためには、相応の期間と経費が必要と見込まれることから、財源確保について継続的かつ重点的な御支援を賜りたい。

令和7年7月17日

むつ市長 山本知也

むつ市議会 議長 富岡幸夫